

～トンコハウス初めての展覧会が本日より開催～

**TYO のアニメーションスタジオ「ドワーフ」がトンコハウスとコラボレーション！**

**アカデミー賞短編アニメーション賞ノミネート「ダム・キーパー」**

**主人公のこま撮り新作アニメーションを制作**

アニメーションスタジオ「トンコハウス」初めての展覧会「トンコハウス展『ダム・キーパー』の旅」が、「クリエイションギャラリー-G8」にて、本日2016年3月25日（金）から4月28日（木）まで開催されます。展覧会の告知ムービーは、ティー・ワイ・オー ドワーフ事業部（以下：ドワーフ）がトンコハウスとコラボレーションした新作アニメーションです。

トンコハウスは、ピクサーでアートディレクターとして、「トイ・ストーリー3」や「モンスターズ・ユニバーシティ」のアートワークを手掛けた堤大介とロバート・コンドウの二人が設立したアニメーションスタジオです。二人が2013年初めて監督としてゼロから制作に挑んだ「ダム・キーパー」は2015年のアカデミー賞短編アニメーション賞にノミネートされ、日本でも大きな話題となりました。世界各地の映画祭で20以上の賞を受賞し、ベルリン国際映画祭をはじめ各国の映画祭で公式出品作として多数上映されるなど、世界から高く評価されています。



本展覧会では、NHKのどーもくんなどを手掛けたアニメーションスタジオ「ドワーフ」とトンコハウスのコラボレーションが実現しました。ドワーフが海外のアニメーションスタジオとタッグを組むのは初めて。展覧会開始に先駆けて、スペシャル企画として「ダム・キーパー」主人公の豚の少年のこま撮り用人形をドワーフが新たに制作・撮影し、トンコハウスが制作した背景に組み合わせた新作アニメーション（告知ムービー）を公開しました。実際に使用したこま撮り用人形もギャラリーにて展示いたします。また、3月29日（火）19時から堤大介監督とドワーフの峰岸裕和アニメーターによるこま撮りライブイベントを開催。ギャラリー内で堤監督のディレクションのもと、実際に人形を少しずつ動かしてこま撮りアニメを作ります。会期中、数回に渡りドワーフアニメーターがこま撮り実演をし、新たな映像を制作。生でこま撮り現場をご覧いただける貴重な機会になります。

その他、展示会では「ダム・キーパー」のキャラクターデザインやマケット、背景やストーリー設定など、作品の世界観を作り上げるさまざまなアートワークを紹介しています。サンフランシスコにあるトンコハウスの内装を再現したスペースでは、これまでの仕事や進行中のプロジェクトもご覧いただけます。

■ トンコハウス展「ダム・キーパー」の旅 開催概要

期 間 : 3月25日（金）～4月28日（木）11時～19時 日曜・祝日休館 ※3月27日は開館  
 ※3月29日（火）19時～20時、堤大介監督とドワーフ峰岸裕和によるこま撮りライブイベント実施  
 主催・会場 : クリエイションギャラリー-G8（東京都中央区銀座 8-4-17 リクルート GINZA8 ビル 1F）  
 料 金 : 無料  
 協 力 : 株式会社ティー・ワイ・オー ドワーフ／株式会社アニマ／情景師アラキー 荒木智

■ ドワーフ×トンコハウス共同制作 トンコハウス展告知ムービーURL

<https://www.youtube.com/watch?v=UgfB7NIFwIQ>

■ 峰岸裕和 プロフィール／ストップモーションアニメーター

東京デザイナー学院アニメーション科を卒業後、岡本忠成氏が主宰するエコー社に入社。岡本忠成作品にアニメーターとして携わりながら、日本を代表する人形アニメーション作家である川本喜八郎氏に師事。1998年から、NHKキャラクター『どーもくん』シリーズのアニメーションを担当。「こまねこ」シリーズ、「まくまくん」シリーズなど、ドワーフ代表の合田経郎とコンビを組んだ作品多数。35年以上にわたり第一線で活躍する世界的にも評価されるトップアニメーター。

